

12月ほけんだより

間々田小学校
♪保健室♪



がつ ほけんもくひょう
12月の保健目標
てあら
手洗い・うがいをしよう。

かんたんさ おお きせつ ましょう げんざい お
寒暖差の大きい季節となりました。間小のインフルエンザ・コロナは、現在落ち
つ 着いていますが、はつねつ しょうじょう けっせき ふ けんない
発熱・かぜ 症状での欠席は増えています！県内ではインフルエ
ンザの流行シーズン入りが発表されました。体力をつけて、寒い冬を乗り切り
ましよう！！



やさしく かしく たくましい ましょう

ほけんいいんかい けんこう つく
保健委員会で健康カルタを作りました♪

ましよう がっこうきょういくもくひょう
間小の学校教育目標『やさしく かしく たくま
しく』を頭文字に、みんなに気をつけて欲しいことを
ほけんいいんかい じどう かんが
保健委員会の児童が考え、カルタにしました！

どれもとても大切なことですね！
こころ 心にとめて、やさしく かしく
たくましい間小っこになろう！！



12/4 授業参観

お 落とし物の確認をお願いします！

12月4日の授業参観時、1号館昇
降口 壁画前に落とし物を置いておき
ます。お子さまの物がいないか、確認を
お願いします。



落とし物は、定期的に児童に回覧していますが、そ
のまま戻ってくる落とし物がたくさんあります。記名
があれば、お子さまの手元に返りますので、記名をお
願いします！！



なまえをかいて(＞_＜)



学校でお子さまが嘔吐・下痢した場合の対応について

ノロウイルスに^{じゅん}準^{たいおう}じた^{おこな}対応を行います。嘔吐・下痢物で汚染した箇所については、次亜塩素酸ナトリウム（塩素系漂白剤）を使って消毒^{どく}します。嘔吐・下痢物が衣服類に付着した場合は、感染拡大防止のため、ビニール袋に入れて持ち帰りとなります。ご家庭にて消毒^{かてい}をお願いいたします。参考に消毒^{しょうどく}の手順を下記に載せますので、感染に十分注意して行ってください。



！ 気をつけて!! 感染性胃腸炎 ！

どんな病気？



ウイルスや細菌などに感染して起こる胃腸炎のことです。子どもに多いのは、ロタウイルス、ノロウイルスによる胃腸炎で、11月～3月ごろに多くみられます。

せつけんを使った手洗いや、生活リズムを整えて体力をつけることが、予防につながります。

主な症状

- 吐き気・おう吐^{はきけ・おうと}
 - 下痢・腹痛^{げり・ふつ}
 - 37℃台の発熱^{いはつ}
 - おう吐や下痢に伴う脱水症状（皮膚・くちびるの乾燥やおしっこ^{おしっこ}の減少に注意しましょう）
- ☆感染から症状が現れるまで、1～2日間の潜伏^{せんぷく}期間があります。



ここに注意!!

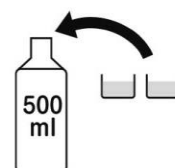
感染者^{べん}の便や吐いたものにはウイルスが含まれ、ほかの人への感染源になるので、正しく処理することが大切です。



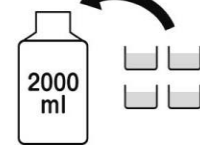
吐いたものや汚れた衣類を処理するには

- 用意するもの
- ペーパータオル（汚物をふきとる）
 - ビニール袋（大きめ）
 - 使い捨てのビニール手袋、マスク、エプロン
 - ペットボトル（500ml、2ℓ） ●バケツ
 - タオル ●塩素系消毒剤（市販の塩素系漂白剤）

消毒液A（濃度0.1％／吐いたものの処理に使用）
500mlのペットボトル1本分の水に、ペットボトルのキャップ2杯（10ml）の塩素系漂白剤の原液を入れる。



消毒液B（濃度0.02％／汚れた衣類の消毒に使用）
2ℓのペットボトル1本分の水に、ペットボトルのキャップ2杯（10ml）の塩素系漂白剤の原液を入れる。



吐いたものの処理方法

- ①ビニール手袋、マスク、エプロンをつけ、ペーパータオルで、汚れている部分の外側から内側に向けて静かにふき取ります。ふき取ったペーパータオル、手袋、エプロンなどは、すぐにビニール袋に入れ、消毒液Aをかけ、密封して捨てます。
 - ②ふき取った後の床とそのまわりを、消毒液Aを浸したペーパータオルでおおい、10分ほど放置した後、水ぶきします。
- ☆塩素系漂白剤を使うので、窓を開け、じゅうぶんに換気しながら処理しましょう。

汚れた衣類の消毒

- ①消毒液Bに30～60分間浸す。塩素で漂白できないものは、85℃で1分間以上熱湯消毒します。
- ②ほかのものと分けて、最後に洗濯^{せんたく}します。

